

第二回

えちご

上越

狂言



出演

狂言「素襖落」

大藏流狂言方 山本東次郎

(人間国宝)

能「熊野」

観世流シテ方 観世喜正

令和7年

3月22日(土)

開場/午後1時30分 開演/午後2時

全席指定 料金 4,000円 チケット発売日/2月1日(土)

会場 高田城址公園 オーレンプラザ ホール

新潟県上越市本城町8-1 Tel.025-525-1311

主催 えちご上越能実行委員会 後援 上越市、上越市教育委員会

プレイガイド 高田城址公園オーレンプラザ ☎025-525-1311
上越文化会館 ☎025-522-8800

チケットに関するお問合わせ 上越文化会館 Tel.025-522-8800
(休館日を除く9:00~17:00)

第二回

えちご 上越能

解説 観世喜正

仕舞 網之段……高橋 康子

雨之段……観世 喜之

地謡……遠藤喜久、鈴木啓吾、石井寛人、金子仁智翔

狂言 「素襖落」

太郎冠者……山本東次郎

伯父……山本 則孝

主……山本凜太郎

〈休憩〉

狂言 「熊野」

熊野……観世 喜正

朝顔……奥川 恒成

平宗盛……福王 和幸

従者……矢野 昌平

笛……藤田朝太郎

小鼓……幸 信吾

大鼓……原岡 一之

後見……永島充、高橋康子

地謡……遠藤和久、遠藤喜久、鈴木啓吾

長山耕三、石井寛人、金子仁智翔

(終演予定午後4時20分)

狂言 「素襖落」

伊勢神宮参拝を決めた主人は、伯父を誘うべく家来の太郎冠者を使いに出す。心優しい伯父は、日頃の太郎冠者の働きを癒すべく酒を出し、土産に素襖(上衣)まで持たせる。ところがしたたかに酔った太郎冠者は…。

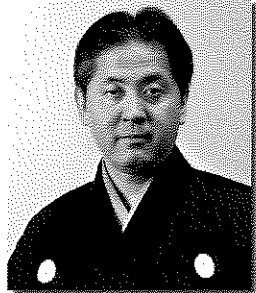
人間国宝・芸術院会員の山本東次郎の十八番。素直な太郎冠者の酔いっぷりが見ものです。

能 「熊野」

春爛漫、平家全盛期の京の都で平宗盛に仕える熊野は、故郷の母が病床にあつて暇を申し出るが認められず、浮かない心で清水寺の花見に同行する。熊野の曇る心そのままに、折からの村雨が花を散らし、平宗盛もやと帰郷を許すのであった。

「熊野、松風に米の飯」。明治の大鼓方・石井一斉の言葉です。米の飯にも例えられるほど大事で、味わい深い演目として「熊野(ゆや)」の名が挙がるほどの能を代表する名曲。満開の桜の絢爛たる春景色をバックに、母娘の情愛の深さを描き、清水寺での宴の舞や、平家物語の無常観を謡いこんだ名文句、和歌のやり取りなどを、特設の能舞台上で表現します。

まもなく桜が見事に咲き誇る高田城址のオーレンプラザホールで、一足早い春の能をお楽しみください。



観世流シテ方 観世喜正



大蔵流狂言方 山本東次郎 (人間国宝)